

私のすすめるこの1冊

延原 理恵（家政科 准教授）

『ストリート・ウォッチング — 路上観察と心理学的街遊びのヒント』

小林茂雄、東京都市大学小林研究室 著

先日、国立民族学博物館で開催されていた「ウメサオタダオ展」に行ってきました。（これは、このニュースが発行される頃には終了している特別展ですので、皆さんにおすすめることができないのが残念です。）情報時代の教養とは何か、簡単に大量の情報を獲得することが可能な時代となった今、梅棹忠夫氏の発した言葉には改めてハッとさせられます。膨大なフィールドノートを拜見しながら、現場に立って、五感、いや、第六感も使って観察し、そこから思考することの大切さを感じました。

私は、この大学で“住領域”を担当していますが、住居だけではなく、人間を取り巻く環境に興味を持っています。だから、人間と環境と一緒に観察して研究しています。今回ご紹介する本は、「人の行為を軸とした建築環境の評価に関する研究」で2010年日本建築学会賞（論文）を受賞された小林茂雄氏が研究室の学生達と一緒にまとめた「フィールドワークの手引き」といえるものです。フィールドワークの手引きといっても、そこは人の行為を促す環境条件を見つけだそうとしている小林氏ですから、観察のポイントもユニークです。思わず〇〇したくなる環境条件を心理学的に観察しているのです。

教育実習に行く前の年にある「附属学校参加研究」という授業の中に「学校生活（授業）観察」の日がありますね。昨年度は私もこの日、附属校に赴いて、学校生活観察をしている学生の皆さん

を観察するということを経験したのですが、この本の「かんさつの方法」が頭に浮かびました。ここで“街”を“学校”に置き換えても、当てはまることが多いのです。とくに観察時の心得は参考になります。いろいろあるのですが、一言だけ引用してみます。「じっくり観察したいときはリラックスしよう。」

観察方法には、大きく分けると参与観察と非参与観察の二種類がありますが、街の参与観察では「自ら進んでいろいろな場に参加し、周囲に溶け込み、交流し、決して観察していることを意識されないようにする。そうすると、見た目だけでは分からないような現象や行為に気づくだろう」と書かれています。

学校生活観察では、休み時間に子どもたちと一緒に遊んでいるのも観察、離れたところから遊んでいる様子を見ているのも観察、ですが、観察の種類が違うんですね。

さて、ここで重要なのは何といっても「楽しむ!」ことです。観察という街遊びから街の魅力を発見し、街や人がいきいきしているような面白い環境づくりができればいい、そう思いながら、この本の中の切り取られた風景のアレコレにさまざまな人間ドラマを想像したのでした。

『ストリート・ウォッチング

— 路上観察と心理学的街遊びのヒント』

著者：小林茂雄、東京都市大学小林研究室

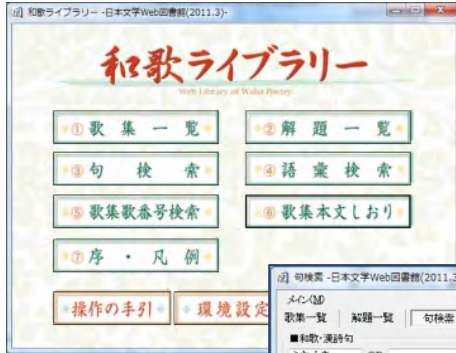
発行者：誠信書房 発行年：2010年

ISBN：9784414301762 価格：1300円

日本文学 Web 図書館を使ってみよう！

8 月末日まで、日本文学 Web 図書館「和歌ライブラリー」のトライアルを実施しています。ぜひこの機会にご利用ください。学内 LAN からのみ利用可能です。

附属図書館トップページ右側、「日本文学 Web 図書館」をクリックしてください。本学作成の詳細説明が表示されます。利用開始時にダウンロードが必要となりますので、注意事項をよく読んでからご利用ください。



和歌ライブラリーのメニュー選択画面

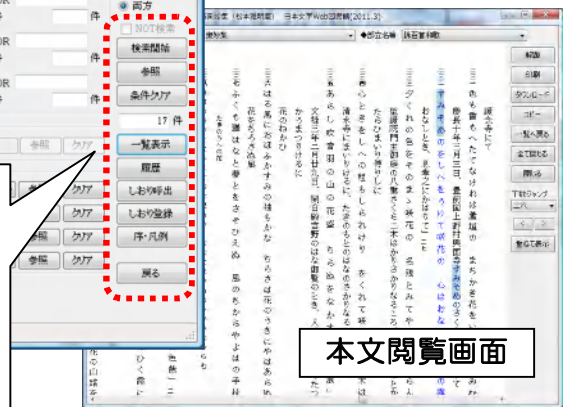
『新編国歌大観』（角川学芸出版）と『新編私家集大成』（古典ライブラリー）の中から検索できます。

句検索のメニュー画面

（例）「ふかくさ」と「すみぞめ」を含む和歌を探したい
※清音・濁音は区別しない（すみぞめ、すみぞめ両方可）
AND 検索…どちらも含む場合。「AND」の下に入力
OR 検索…どちらかを含む場合。「OR」の右に入力

検索から本文閲覧まで

- ①条件を入力したら、[検索開始] をクリックする。
（各検索条件の下にそれぞれの件数が、[一覧表示] ボタンの上に複数条件を掛け合わせた件数が表示される）
- ② [一覧表示] をクリックする
- ③一覧画面から選択し、[本文表示] をクリックする



本文閲覧画面

このほかにも、さまざまな検索機能があります。詳しくは「操作の手引」を読んで活用してください！

図書館からのお知らせ

夏季休業に伴う長期貸出について

下記のとおり長期貸出をしますので、ご利用ください。

対象	院生・教職員	学部生
貸出期間	7月9日（土）～9月5日（月）	7月23日（土）～9月17日（土）
貸出冊数	12冊	7冊
返却期限日	2011年10月4日（火）	



*前期卒業予定者の返却期限は9月10日（土）です。

*視聴覚資料は除きます。

*長期貸出図書については、貸出の延長はできません。

一度返却してから翌日以降貸出の手続きをとってください。

*一般利用者・卒業生の方の長期貸出はできません。

理科領域自然環境教材論 作品展

「0.01m²の風景」

2011年6月2日～16日（終了）

この授業では、昨年より受講生が心に抱く風景を再現する「ミニジオラマづくり」に取り組んでいます。ジオラマづくりを通して、ふだん何気なく見ている自然への興味・関心を深めることが目的です。ジオラマ作成用の専用素材は使用せず、スポンジ、毛糸、川砂、紙粘土など身近にあるものを使用して10cm×10cmの木の板に、風景を組み上げていきます。針金を使って枝を再現したり、木工用ボンドを用いて水滴を再現したりと、それぞれに工夫が見られました。アメフトフィールド、故郷の滝、高度感を感じさせるグランドキャニオンなど受講生が表現する風景は様々。「0.01 m²の空間にこれだけの奥行きを表現できるのか」と、授業担当者の私もいつもながら驚きます。

（理学科 中野英之准教授）

展示の様子



＜附属図書館より＞

昨年に引き続き、附属図書館のグループ学習室前のスペースを活用して展示をしていただきました。

着眼点や、細部にこだわった造りがおもしろく、見ていて楽しい展示でした。ありがとうございました。

（スタッフ 角野）

～ 図書館開館スケジュール ～

2011年 7月						
日	月	火	水	木	金	土
					●	▲
3	4	5	6	7	8	9
休	●	●	休	●	●	▲
10	11	12	13	14	15	16
休	●	●	●	●	●	▲
17	18	19	20	21	22	23
休	休	●	●	●	●	▲
24	25	26	27	28	29	30
休	●	●	●	●	●	▲
31						
休						

2011年 8月						
日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
	●	●	●	●	●	休
7	8	9	10	11	12	13
休	▲	▲	▲	▲	▲	休
14	15	16	17	18	19	20
休	休	休	休	▲	▲	休
21	22	23	24	25	26	27
休	▲	▲	▲	▲	▲	休
28	29	30	31			
休	▲	▲	▲			

＜カレンダーの見方＞

日付	9:00～21:00
●	
日付	9:00～17:00
▲	
日付	休館日
休	

7月6日(水)は館内整理日のため休館

8月6日(土)から休業期間のため、月～金曜は17時閉館、土曜は休館となる

8月15日(月)～8月17日(水)は夏季一斉休業のため休館

戦時下の京都師範学校の教育

—1945（昭和20）年における学校長作成文書を資料として—

村上登司文

村上登司文(教育学科 教授)

京都教育大学紀要 No. 118 pp. 65-80 平成23年3月

「教え子を再び戦場に送るな」というスローガンがありますが、教え子を戦場に送った教師はどのように養成されたのでしょうか。京都教育大学の学生にとって、その前身である京都師範学校で、戦時下にどのような教育が行われたかは、身近な平和教材といえます。当時の師範学校は、高等小学校からは15歳、中学校からは17歳で入学し19歳で卒業しました。

京都師範学校で1945年前後に作成された公的文書を綴ったものが、2009年に京都教育大学事務局で見つかりました。本論文は、皇国主義思想を持つ京都師範学校の長岡弥一郎校長が作成した令達(昭和20.4.9～昭和21.5.2日付け)及び式辞や祭祀を引用しながら、敗戦を挟んだ1年あまりの師範学校の教育状況について考察しています。

長岡校長による令達の中に、緊迫した戦況下の学徒動員について、「生徒の付添教官は、生徒の死を握る重大なる責任を担う者として深く敬意を払う者なり。ゆえに教官は、一言一行といえども生徒の信頼を失うがごときこと無きよう。否、教官の下には莞爾〔にっこり〕として死につくだけの信頼感を持ちいるよう細心の配慮ありたし(昭20.5.29)。」また、戦意高揚のための令達として、「学校における諸会合催しにおいて、例えば壮行式、離任式などにおいてなす挨拶感想等はすべて積極、明朗、闊達にして必ず戦意高揚に資するものたるべく、消極感傷の気分に流るるがごときことなきよう師弟各々厳に戒められたし(昭20.6.21)」（現代表記に改めました）とあります。

その年の8月に敗戦となり、長岡校長はGHQによる教育指令に戸惑いながらも、その教育政策に追従します。けれどもGHQ命令による教職員適格審査において、長岡校長が文部省教学官のときに、極端な国家主義および軍国主義的思想を持って、学校教育を指導したことなどにより教員不適格と判定され、京都師範学校長を免職になります。

本タイトルの論文は京都教育大学紀要118号に掲載されています。

後日、京都教育大学リポジトリ「クエリ(KUERe)の森」<http://ir.kyokyo-u.ac.jp/dspace/>にも公開予定です。

●京都教育大学附属図書館ホームページはこちらから <http://lib1.kyokyo-u.ac.jp/>

●携帯版図書館ホームページはこちらから

<http://lib1.kyokyo-u.ac.jp/m/mhome.htm>

右記のQRコードからも

アクセスできます



京教図書館 News No. 130 (2011年7月号)

発行日：平成23年7月1日

編集発行：京都教育大学附属図書館

内容に関するお問い合わせ先：library@kyokyo-u.ac.jp